

# 動物園の存在意義と教育的活用方法の提案

平成30年度 3年1組(12) 楠優羽稀  
指導 教育学部 向 平和

## はじめに

日本動物園水族館協会(JAZA)によると、動物園の役割は「種の保存」「教育・環境教育」「調査・研究」「レクリエーション」の4つである。あまり認識されていない「教育・環境教育」に目を向け、動物園の社会教育施設としての役割を考える。

## 目的

- ①存在意義の顕在化  
動物園の役割の整理  
小学校教科書における掲載内容の調査
- ②教育的活用方法の提案  
現地調査  
小学生を対象とした実践

## 研究内容 I

社会教育施設としての役割

生涯学習・社会教育としての動物園の活用

- 教育を受ける権利として
- ・ UNESCO「学習権宣言」(1985)
  - ・ 教育基本法(第3条・第12条)
  - ・ ブダペスト会議(1999)  
「科学と科学的知識の利用に関する世界宣言」
- リカレント教育の場として

小学校4年生の教科書

- 5社の教科書を比較  
「ヒトの体のつくりと運動」  
2社で明確に掲載されていた



国際成人力調査(OECD PIAAC 2012)  
日本の30歳以上の成人の通学率1.60%  
(ランキング18か国中で最低、最高は8.27%フィンランド)

## 研究方法

- ・文献調査→研究内容 I  
社会教育施設に関する法令等の調査  
小学校理科の教科書における動物園の活用について調査
- ・動物園の職員へのインタビュー調査→研究内容 II  
動物園での教育活動・教育資源の実態を調査
- ・小学生を対象とした教育実践に参加→研究内容 III  
動物園を活用した教育活動を企画・実施

## 研究内容 II

調査日時：平成30年4月27日

調査場所：愛媛県立とべ動物園

調査結果

- ①日本の動物園について
- ・ワシントン条約により制限されたため、お金があっても海外から動物を買えない。
  - ▷国内の動物園同士で協力し繁殖
  - ⇔現状各動物の個体数は減っている
- ex) 国内
- ゴリラ：21頭のみ(オス10,メス11)
  - アフリカゾウの親子：ここ16年とべ動物園のみ
- ②とべ動物園について
- ・2017年の年間来園者数は48万人(理想は52万人)
  - ・来園者数が1万人増→収益5,000万円増
  - ・エサ代：1日13万円、年間4,400万円
  - ・入場料：大人500円、高齢者・高校生200円、小中学生100円、幼児・障害者無料
  - ▷観光資源としては費用対効果は高い
- ③移動動物園について
- 対象：主に小学1～3年生が対象  
年間▷小学校20,幼稚園5,福祉施設5,修学旅行生1,遠足で園を訪れた学校5,自然科学教室5
- 内容
- ・○×クイズ
  - ・実際に動物を見て触れ合う(ウサギ,モルモット,ヘビ,ハリネズミ,カメ)
  - ▷ウサギは聴診器で心臓の音を聞いてみる
  - ・フンや皮,餌などの実物やレプリカを見せる
  - ・園内での実施の場合  
レクチャー▷園内でのクイズラリー



## 研究内容 III

日時：平成30年7月14日

場所：愛媛県立とべ動物園

対象：愛媛大学教育学部附属小学校4年生

- 内容
- <企画>
- 子供たちが園内を自由に回り、写真や動画を収集する。それに付いて回り、動物の身体づくりや機能について紹介しながら、興味を持ったことや疑問に思ったことについてまとめ、発表する。1グループ1台ずつiPadを持ち、ロイロノートというアプリケーションを用いて写真などの収集を行う。

ロイロノートとは...  
「思考力」「プレゼン力」育成ツール  
テキストだけでなく写真や動画、地図などのカードを繋げてつくる  
プレゼンテーション



- <実施>
- 小学校4年生、保護者、大学生、高校生の4人一組

- 園内を散策し動物の様子を写真や動画で撮影
- ▷撮ったものから発表したい内容を抜粋、まとめる
  - ▷私たちのグループでは動物の家族について比較
    - ・ゾウの家族が水浴びをしていた様子
    - ・チンパンジーの兄弟が喧嘩していた様子



## 考察

単に見て楽しむだけでなく、それぞれの動物を「どんな様子だろう」「ほかの動物とは何が違うのだろう」といった疑問を持って見ることで新しい発見や知識が増える。また、授業で習ったことをより深く学べる場でもある。子どもが興味を持つような機器の使用も大切である。それだけでなく年齢・世代を超えたコミュニケーションをとる場にもなった。身近に動物園があるのに学びに利用しないのはもったいないと思った。そのため今回のような教育活動として訪れることはいいことであり、もっと多くの人がそれを認識し、実践してほしいと思った。

## 結論

- ・動物園は単に展示しているだけではないため、様々な形で活用すべき
- ・動物園の役割がレクリエーションから種の保存や教育に変化
- ・動物園の4つの役割の認識を深め、動物園でないといけないことを明確化する必要

## 謝辞

この研究において指導をしてくださった愛媛大学教育学部の向平和先生、とべ動物園の宮下敬介さん・池田敬明さん、大学生の皆さん、課題研究のための授業や日程を考えてくださった加藤先生、本当にありがとうございました。